

課 題 カブの品種比較試験

担 当 者 小林 照世

目 的 三里浜砂丘地で栽培されているカブは、統一した品種がない。そこで、更なる特産化を図るために、高品質な品種で統一できるよう、品種比較試験を行って優良品種を選抜する。

供 試 品 種 はくれい(みかど種苗)、福小町、CR もちばな、CR ゆきばな(タキイ種苗)
玉里(武蔵野交配)

試験区構成 1 区 はくれい(みかど種苗)
2 区 福小町(タキイ種苗)
3 区 CR もちばな(タキイ種苗)
4 区 CR ゆきばな(タキイ種苗)
5 区 玉里(武蔵野交配)

区制及び株数 1 区制 1 区 20 株

耕 種 概 要 栽培条件 施設
播 種 10 月 25 日
栽植密度 条間 20cm × 株間 10 cm 株/a
施 肥 量 元 肥 堆肥 200kg/a
有機石灰 15kg/a
有機入り複合肥料 674Z 号 15 kg/a
成分量 NO.9 - P1.1 - K0.6 kg/a

収 穫

はくれい	1 月 10 日 ~ 2 月 8 日
福小町	1 月 10 日 ~ 2 月 8 日
CR もちばな	1 月 23 日 ~ 2 月 8 日
CR ゆきばな	1 月 23 日 ~ 2 月 8 日
玉里	1 月 5 日 ~ 2 月 8 日

調 査 項 目 収量調査 葉重、根重、総収量、葉丈、根径、根幅、葉軸の強度

期待される効果 三里浜砂丘地のカブの品質向上

結果及び考察

- 1 収量調査を表 1 に示した。全重量は、273.8g の CR もちばなが一番重く、235.9g の玉里が一番軽かった。葉重は 121.9g のゆきばなが一番重く、98.0g の玉里が一番軽かったが、全重量に対する葉重の占める割合は、はくれいが一番高かった。その割合が一番低かったのは、福小町であった。CR ゆきばなは、葉数が一番多いが、葉丈が一番短かった。葉丈が一番長かったのは、48.3 cmのはくれいであった。葉軸の強度は CR もちばなが一番強く、玉里が一番低かった。
- 2 根重は、161.9g の福小町が一番重く、137.9g の玉里が一番小さかった。縦横比は、福小町と CR

ゆきばなが0.85で高く、玉里が0.72で低かった。首径はCR ゆきばなが一番大きく、はくれいが一番小さかった。葉軸の強度はCR もちばなが一番強く、玉里が一番低かった。

- 3 以上の結果より、調製重が一番重く、葉軸の強度が一番強いCR もちばが、優良品種であることが分かった。玉里は横径が一番大きかったが、縦径が短く葉重も軽いため、調製重が軽くなることも分かった。また、首径と葉軸の強度には関係がないこともわかった。これらの結果を、産地にも提案していく。

表1 収穫物調査(20株平均)

	全重 (g)	調製重 (g)	葉重 (g)	葉重/全重	葉数 (枚)	葉丈 (cm)
はくれい	260	249.6	118.5	0.46	19.7	48.3
福小町	268.6	258.5	107.6	<u>0.40</u>	19.4	47.9
CR もちばな	273.8	266.8	121.2	0.44	<u>19.1</u>	44.9
CR ゆきばな	268.3	257.4	121.9	0.45	22.7	<u>44.5</u>
玉里	<u>235.9</u>	<u>228.3</u>	<u>98.0</u>	0.42	19.7	45.3

	根重 (g)	根重/全重	根縦径 (cm)	根横径 (cm)	縦横比	首径 (cm)	葉軸の強度
はくれい	141.9	<u>0.54</u>	55.0	68.2	0.81	<u>28.9</u>	4
福小町	161.9	0.6	58.2	68.8	0.85	33.6	3.8
CR もちばな	153.0	0.56	54.7	69.9	0.78	31.7	4.5
CR ゆきばな	143.6	0.55	56.5	<u>66.8</u>	0.85	35.0	4.1
玉里	<u>137.9</u>	0.58	<u>49.0</u>	68.5	<u>0.72</u>	34.5	<u>3.7</u>

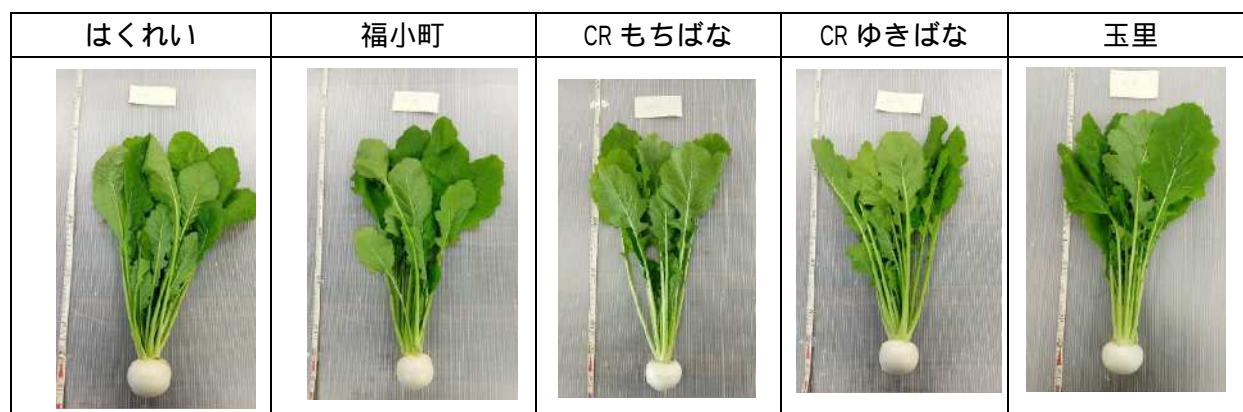


図1 それぞれの草姿